

# 平成27年度 施策評価シート

## 1 施策の位置付け

基本戦略	B	危機管理の強化と社会基盤の最適活用
重点プロジェクト	6	防災・減災の推進
施策	1	防災体制・防災活動拠点の強化
目的	市が保有する施設や設備の耐震化、雪害や地震に備えた都市インフラの防災・減災対策、市民の自主防災活動の支援等を通じて、火事などの人災の発生抑制と自然災害発生時の被害の最小化に努めます。	

## 2 施策の指標における成果

指標	単位	基準値		達成値			目標値	
		H25	H26	H27	H28	H29	H29	
統計	防災訓練実施件数	区	-	36				66
統計	地区避難所運営マニュアルの策定数	地区	-	1				10
統計	デジタル移動系防災行政無線の整備率	%	-	0.0				100.0
統計	消防団員の充足率	%	-	99.0				100.0
市民	地域において自主防災組織の活動が活発に行われていると感じる市民の割合	%	-	50.9				52.0
市民	消防・救命救急活動が迅速かつ適切に行われていると感じる市民の割合	%	-	57.6				59.0
その他 成果								

## 3 施策を構成する事務事業の評価(取り組み別)

取り組み④	自然災害対策の推進								
手段	気候変動に起因する自然災害に対応するため、危険箇所や想定被害の把握に努めるとともに、水害対策や河川の整備、砂防や急傾斜地、雨水排水施設の整備などの適切な対策を講じていきます。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	公共下水道雨水幹線整備事業 ※	下水道課	7,000	56,000 142,000	101,000 15,000	○	縮小	縮小	⑥

取り組み⑤	住宅等の耐震化の促進及びライフライン等の耐震化の推進								
手段	耐震化が進んでいない住宅の所有者に対して耐震補強工事の実施を促すとともに、補助金交付などを行います。また、上下水道施設の耐震化の整備を推進します。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	基幹施設耐震化推進事業 ※	上水道課	0 2,450	0 60,000	0 15,000	○	維持	縮小	③
2	送水施設整備事業 ※	上水道課	4,800 12,360	42,000 33300	0 60,500		拡充	拡大	①
3	配水施設整備事業 ※	上水道課	76,915	168,000	98,000	◎	拡充	維持	②
4	下水道施設耐震化推進事業 ※	下水道課	44,000	103,000 118,000	132,000 119,000	◎	維持	縮小	③

## 4 施策の評価

### ○ 事中評価

評価視点	評価コメント
(1) 事業構成の適正性	・管路耐震化計画に基づく配水管の更新による耐震化の推進。連結管接続による施設間のバックアップ。 ・浸水被害地の解消や、地震時などによる被災に対する安全度を高めるために、施設の耐震化及びバックアップ対策を図る。
(2) 事業の重点化	・交付金を活用した配水施設整備事業の配水管の耐震化を推進する。 ・平成28年度は、ゲリラ豪雨などにより浸水被害を受けている区域の快適な市街地を創出するため、「奈良井川右岸3-1号雨水幹線」は工事に着手し、「田川左岸3-1号雨水幹線」については国土交通省の国道19号拡幅工事と調整を図り工事を計画的に推進する。災害時に下水道が最低限有すべき機能を確保するために、管路施設の耐震化工事、処理施設の調査設計の重点化を図る。
(3) 役割分担の妥当性	・災害時等のライフライン確保の取組を行う。 ・「公共下水道雨水幹線整備事業」「下水道施設耐震化推進事業」は他事業との調整や計画的な事業取り組みが必要である。また施設整備に多額の費用を要することから県を通じて国庫補助金の確保を図る。

### ○ 事後評価

(4) 施策指標の分析	
-------------	--

作成者	所属 水道事業部上水道課	職名 課長	氏名 島 徹
作成者	所属 水道事業部下水道課	職名 課長	氏名 保科正明
評価者	所属 水道事業部	職名 部長	氏名 大和晃敏

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	公共下水道雨水幹線整備事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課		
概要	対象:	市民		体系	B-6-1-4	
	手段:	奈良井川右岸3-1号、田川左岸4号及び田川左岸3-1号雨水幹線工事を計画的に行う。		新/継	継続	
	意図:	局地的なゲリラ豪雨などにより浸水被害を受けている区域の安全で快適な市街地の創出を図る		区分	ハード	
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)	
	○奈良井川右岸3-1号 ○実施設計 □1200 L=120m ○河川協議		○田川左岸3-1号 ○雨水幹線工事 □1200 L=200m ○雨水附帯工及び支障物件補償 ○奈良井川右岸3-1号 ○雨水幹線工事 □1200 L=120m ○雨水附帯工及び支障物件補償		○田川左岸4号 ○実施設計 ○田川左岸3-1号 ○雨水幹線工事 □1200 L=200m ○雨水附帯工及び支障物件補償	
	予算額 (千円)	7,000	計画額 (千円)	56,000	計画額 (千円)	101,000
財源	奈良井川右岸3-1号		田川左岸3-1号		田川左岸4号	15,000
	7,000		86,000		田川左岸3-1号	86,000
	7,000		56,000			
	特定	7,000	一般	0	特定	56,000
				142,000	一般	0
					特定	101,000
						15,000
						86,000
						15,000
						86,000
						15,000
						86,000

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
奈良井川右岸3-1号整備率(%)	0		11			100			
田川左岸3-1号整備率(%)									100
田川左岸4号整備率(%)									2

○事中評価

評価視点											今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性			成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	3	④	1	②	3	4	1	2	③		4	現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い	縮小	⑥	↓	
総合評価判定				総合評価								休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討				C							コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等				田川左岸3-1号雨水幹線は国道19号九里巾交差点改良工事と同時施工を行う予定である。国道改良の施行者である国土交通省による用地買収が遅れていることから、平成28年度の工事実施は困難な状況である。												
新年度の予算要求事項(改革・改善案)				新年度に田川左岸3-1号雨水幹線工事を実施することが困難であるため、当該事業費を減額する。奈良井川右岸3-1号についても国庫補助事業のため、補助金内示額により事業実施が左右される事業である。補助金確保のため県を通じて国に対して事業の必要性を強く働きかける必要がある。												
第1次評価コメント				提案どおり実施すること。												
第2次評価コメント				第1次評価のとおり実施すること。												

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	担当係長	氏名	赤津 清孝	連絡先(内線)	1234
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	基幹施設耐震化推進事業 ※公営企業会計			担当課	上水道課										
概要	対象:	上水道を使用する市民				体系	B-6-1-5								
	手段:	応急給水拠点の整備、施設の耐震化を実施し、災害時における飲料水を確保する。				新/継	継続								
	意図:	地震災害に強い水道事業の構築、災害時の飲料水等確保する。				区分	ハード								
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)								
	○吉田地区井戸調査			○吉田井戸掘削			○吉田応急給水拠点整備								
財源	予算額	(千円)	0	2,450	計画額	(千円)	0	60,000	計画額	(千円)	0	15,000			
			0				0				0				
	井戸調査		2,450		井戸掘削		60,000		応急給水拠点整備		15,000				
	特定		0	一般	2,450	特定		0	一般	60,000	特定		0	一般	15,000

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
候補地選定						1			
井戸調査									1

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①
1	2	3	④	1	②	3	4	1	②	3	4		現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦		
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												候補地とした吉田西コミュニティセンターが、都市計画法上応急給水拠点の築造ができないため、新たな候補地を選定する必要がある。				
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												候補地を選定し、1年先送りする。				
第1次評価コメント												要求どおり実施すること。				
第2次評価コメント												水道ビジョンの応急給水量を考慮すると、費用対効果の面で疑問があるため、抜本的見直しを行うこと。				

○事後評価

区分	年間(4月~3月)										
取組内容											
成果											
課題											

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主任	氏名	根橋 佳伸	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	送水施設整備事業 ※公営企業会計		担当課	上水道課		
概要	対象: 上水道を使用する市民			体系	B-6-1-5	
	手段: バックアップ体制強化。断水リスクの低減を図るため、配水区域を連結する水系間連結管の整備を行う。			新/継	継続	
	意図: 水道水の安定供給を図る。			区分	ハード	
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)	
	○柿沢永井坂送水ポンプ ○上西条、郷原間送水管連結		○柿沢永井坂送水ポンプ ○上西条、郷原間送水管連結		○上西条、郷原間送水管連結	
財源	予算額 (千円)	4,800 12,360	計画額 (千円)	42,000 33,300	計画額 (千円)	0 60,500
	送水ポンプ設計委託	4,800 0	送水ポンプ更新	11,700 0	連結管工事	60,500
	連結管設計委託	7,560	連結管工事	21,600		
	特定	4,800 12,360	一般	42,000 33,300	一般	0 60,500

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
委託発注数	1		2						
送水ポンプ更新						1			

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①
1	2	③	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥		
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦			
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討													皆減	縮小	現状維持	拡大	
												コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		上西条・郷原間送水管について管路耐震化計画の中で管網計算を行ったところ、現計画の配水管からの連結では周辺に給水減圧を起こすことが判明し、現状給水圧に影響が懸念されることから、新たなルート検討をせざるを得なくなったため再検討を行う。															
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		上西条・郷原間送水管についてはルート検討後予算計上する。柿沢永井坂送水ポンプは計装設備を含めた予算計上とする。															
第1次評価コメント		要求どおり実施すること。															
第2次評価コメント		第1次評価のとおり実施すること。															

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主任	氏名	根橋 佳伸	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	配水施設整備事業 ※公営企業会計				担当課	上水道課						
概要	対象: 上水道を使用する市民					体系	B-6-1-5					
	手段: 石綿・ビニール管の配水管は耐震性が低いため、配水管の新設・改良を行う。					新/継	継続					
	意図: 水道水の安定供給を図る。					区分	ハード					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)				平成28年度(2年次)				平成29年度(3年次)			
	○配水管改良				○配水管改良				○配水管改良			
財源	予算額 (千円)		76,915	予算額 (千円)		168,000	予算額 (千円)		98,000			
	配水管改良		64,000	配水管改良		90,000	配水管改良		90,000			
	雨水関連事業		8,915	流量計設置		70,000	雨水関連事業		8,000			
	都市計画事業関連		4,000	雨水関連事業		8,000						
	特定	76,915	一般	0	特定	168,000	一般	0	特定	98,000	一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
配水管改良延長	1628.2		1713			1200			1200

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①
1	2	3	④	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持		③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥		
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦			
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討				B								皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		管路耐震化計画策定後に交付金の要望となり、交付金要綱に見合うように計画の見直しを図る必要がある。															
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		管路耐震化計画と塩尻市水道ビジョンフォローアップを受けて計画を再構築の検討をする。															
第1次評価コメント		要求どおり実施すること。															
第2次評価コメント		第1次評価のとおり実施すること。															

○事後評価

区分	年間(4月~3月)									
取組内容										
成果										
課題										

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	担当係長	氏名	佐々木高史	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	下水道施設耐震化推進事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課			
概要	対象:	下水道を使用する市民			体系	B-6-1-5	
	手段:	災害時の緊急輸送路および下水道が最低限有すべき機能を確認するための地震対策計画を策定し、下水道施設の耐震化を行う。			新/継	継続	
	意図:	下水道処理施設および緊急輸送路における下水道施設の耐震化を図り、地震等による災害リスクを低減するための事業である。			区分	ハード	
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)		
	管路施設 ○調査・設計(耐震診断含む)1.0式 処理施設 ○調査・設計(耐震診断・詳細設計含む)1.0式		管路施設 ○可とう性継手設置 ○マンホール浮上防止 処理施設 ○調査・設計(耐震診断・詳細設計含む)1.0式 その他施設 ○マンホールトイレ 9基 ○仮設ポンプ 8台 ○防災倉庫 1棟		管路施設 ○可とう性継手設置 処理施設 ○耐震診断・詳細設計・耐震補強 1.0式 ○可とう性継手設置 9ヶ所 その他施設 ○マンホールトイレ 9基 ○仮設ポンプ 8台 ○防災倉庫 1棟		
財源	予算額	(千円) 計 44,000	計画額	(千円) 計 103,000	計画額	(千円) 計 132,000	
	管路施設 調査・設計	34,000	管路施設 耐震化工事	118,000	管路施設 耐震化工事	119,000	
	処理施設 調査・設計	10,000	処理施設 調査・設計	88,000	処理施設 耐震診断外	100,000	
			処理施設 耐震化工事	90,000	処理施設 耐震化工事	102,000	
			処理施設 調査・設計	15,000	処理施設 耐震診断外	4,000	
			その他施設 減災対策	13,000	処理施設 耐震化工事	13,000	
				0	その他施設 減災対策	15,000	
				-15,000		0	
特定	44,000	一般	0	特定	103,000	一般	0
					118,000		
						特定	132,000
							119,000
						一般	0

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
管路施設耐震化工事進捗率(%)	0		9			33			61
処理施設耐震化工事進捗率(%)	3		6			15			25

○事中評価

評価視点											今後の方向性					
妥当性			有効性				効率性				成果の方向性	④	②	①		
1	2	③	4	1	2	③	4	1	②	3		4	現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い	縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価								休廃止	⑦			
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討				B							皆減 縮小 現状維持 拡大					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等				管路施設の事業については、本年度は社会資本整備総合交付金事業の補助金の内示がないため未着手である。このまま内示がなければ事業を来年度へ先送りとしざるを得ない。												
新年度の予算要求事項(改革・改善案)				処理施設の調査・設計の増額分を管路施設工事費から減額する。減災対策は平成29年度に先送りする。平成27年度分の管路施設事業費の国庫補助内示がない場合、当該事業費が平成28年度へ先送りとなる。												
第1次評価コメント				要求どおり実施すること。												
第2次評価コメント				第1次評価のとおり実施すること。												

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	事務員	氏名	遠藤 大珠	連絡先(内線)	1235
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成27年度 施策評価シート

1 施策の位置付け

基本戦略	B	危機管理の強化と社会基盤の最適活用
重点プロジェクト	6	防災・減災の推進
施策	2	都市インフラの長寿命化・再構築と公共施設等の維持管理の最適化
目的	道路、橋梁、上下水道、ごみ処理施設、公共施設等の適切な維持管理による長寿命化と長期的視点に立った統廃合等の検討を進め、適切な管理運営と施設配置を推進します。また、ごみの減量化やリサイクルを促進するとともに、民間が所有する空き家や空地の有効活用と都市基盤の集約化を進めます。	

2 施策の指標における成果

指標	単位	基準値		達成値			目標値	
		H25	H26	H27	H28	H29	H29	
統計	橋梁長寿命化修繕計画による修繕箇所数(橋梁)	箇所	-	16				18
統計	鉛製給水管の解消率	%	-	73.9				100.0
統計	長寿命化計画による管更生延長(ヒューム管・陶管)	m	-	88				796
統計	公共施設の除却、統合件数(累計)	施設	-	0				14
統計	ごみの資源化率	%	26.0	-				30.0%以上
市民	ごみの減量に向けた分別やリサイクルが盛んであると感じる市民の割合	%	-	69.6				75.0
市民	ごみ処理のための施設が整備されていると感じる市民の割合	%	-	53.3				55.0
統計	家庭系もえるごみ量(市民1人1日当たり)	g/人日	345	-				340
統計	事業系もえるごみ量	t/年	6,927	-				6,420
統計	塩尻駅北地区の区画整理事業の進捗度	%	-	0.0				7.4
統計	優良建築物等整備事業による集合住宅整備戸数	戸	-	0				18
その他成果								

3 施策を構成する事務事業の評価(取り組み別)

番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
取り組み② 上・下水道施設の機能維持と増進による水道水の安定供給と不断の下水処理									
手段 水道水の安定供給や不断の下水処理を行うため、施設の適正な維持管理、計画的な改築・更新を推進します。加えて、上水道事業では、小規模施設などの統廃合、水道システムの再構築による最適化、簡易水道事業の統合等を進めます。下水道事業では、処理施設や管路施設の長寿命化、下水道基本構想の策定などを進めます。									
1	片丘浄水場移設更新事業 ※	上水道課	121,600			-	-	-	-
2	東山水系水道システム再構築事業 ※	上水道課	32,600	113,000 62,400	152,000 64,800	○	拡充	拡大	①
3	浄水施設整備事業 ※	上水道課	40,234	40,500	40,300		維持	維持	⑤
4	浄水施設改修事業 ※	上水道課		15,000	15,000	-	-	-	-
5	鉛製給水管解消事業 ※	上水道課	94,500	104,880 92,600	104,880 92,400	◎	拡充	拡大	①
6	水道ビジョンフォローアップ事業 ※	上水道課	15,020			-	-	-	-
7	簡易水道事業の水道事業への統合	経営管理課		4,300			維持	維持	⑤
8	塩尻市浄化センター第1期長寿命化事業 ※	下水道	284,000	246,000 102,100	554,000 269,000	◎	拡充	拡大	①
9	小野特環公共下水道長寿命化事業 ※	下水道		22,300	64,600	-	-	-	-
10	下水道長寿命化事業(管路施設長寿命化第2期) ※	下水道	15,000	47,100 20,000	66,700 20,000	○	拡充	拡大	①
11	公共下水道汚水管路整備事業 ※	下水道	67,400	40,600 20,600	40,600 20,600		拡充	拡大	①
12	終末処理施設改修事業 ※	下水道	54,465	60,400	63,900		維持	維持	⑤
13	排水処理施設改修事業 ※	下水道		16,200	16,700	-	-	-	-
14	マンホールポンプ場改修事業(公共下水道事業) ※	下水道		20,000	13,700	-	-	-	-
15	マンホールポンプ場改修事業(農業集落排水事業) ※	下水道		9,500	7,100	-	-	-	-
16	下水道基本構想策定事業 ※	下水道	11,300			-	-	-	-
17	生活排水処理場効率化推進事業 ※	下水道		12,000	12,000	-	-	-	-
18	合併処理浄化槽設置事業	下水道	4,282	予算対応	予算対応		縮小	縮小	⑥
19	衛生センター長寿命化事業	下水道	19,948	21,800 20,000		-	拡充	拡大	①
新規	塩尻市浄化センター第2期長寿命化事業 ※	下水道		11,000 0	10,000 0	-	-	-	-

4 施策の評価

○ 事中評価

評価視点	評価コメント
(1) 事業構成の適正性	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛製給水管解消事業は平成29年度完了に向け着実に進捗を図る。東山水系水道システム再構築事業の進捗を図る。簡易水道事業統合に向けた、使用者への説明及び手続きを進める。</li> <li>下水道施設で老朽化の著しい施設、設備を対象に改築・更新を実施し、延命化やLCCの削減を図る。</li> </ul>
(2) 事業の重点化	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛製給水管100%解消の確実な進捗。東山水源のクリプトスポリジウム汚染の不安が高まっており施工計画の見直しをし早期供用を図る。</li> <li>塩尻市浄化センターは、供用開始から30年以上経過し各設備の老朽化が著しいため、平成28年度は長寿命化事業により自家発電設備、変電設備の改築・更新を行い施設の機能保全を図る。また、下水道長寿命化事業では、老朽化した管路施設を対象に管更生工事、管更生実施設計を行い管路施設の延命化やLCCの低減を図るとともに事故防止、機能停止を図る。</li> </ul>
(3) 役割分担の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な施設管理・更新を行い、安心・安全な水道水の安定供給を図る。榿川地区に上水道事業への統合について丁寧な説明を行う。</li> <li>施設整備に多額の費用を要することから県を通じて国からの補助金の確保を図る。</li> </ul>

○ 事後評価

(4) 施策指標の分析	
-------------	--

作成者	所属 水道事業部上水道課	職名 課長	氏名 島 徹
作成者	所属 水道事業部下水道課	職名 課長	氏名 保科正明
評価者	所属 水道事業部	職名 部長	氏名 大和晃敏



平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	東山水系水道システム再構築事業 ※公営企業会計				担当課	上水道課						
概要	対象:	上水道を使用する市民				体系	B-6-2-2					
	手段:	小規模分散施設を統廃合し、水道システムの最適化、水質に不安のある東山水源を廃止し、松塩水道用水の水系に切替える。				新/継	継続					
	意図:	水道水の安定供給、水道システムの最適化によるLCCの低減を図る。				区分	ハード					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)				平成28年度(2年次)				平成29年度(3年次)			
	○東山配水池				○東山配水池				○東山配水池配水管			
財源	予算額	(千円)	32,600		計画額	(千円)	113,000 62,400		計画額	(千円)	152,000 64,800	
	送配水管布設		32,600		送水管布設		62,400		送水管布設		44,300	
					送・配・排水管布設		14,000				0	
					配水池築造		99,000		減圧弁設置		20,500	
								配水管布設		17,000		
								送水ポンプ場築造		70,000		
								電気計装設備		65,000		
特定		32,600	一般		特定	113,000	一般		特定	152,000	一般	
						62,400				64,800		

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
布設延長	1000		1000						
配水池築造						1			
送水ポンプ場築造									1
電気計装設備									1

○事中評価

評価視点												今後の方向性						
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①	
1	2	③	4	1	②	3	4	1	②	3	4		現状維持		③	⑤		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥			
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減				縮小	現状維持	拡大
												コスト投入の方向性						
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		南信地方でクリプトスポリジウムの検出があり、野生獣の増加により水源のリスクが高まっていることから、早期の水源転換が必要となるため、施工計画を見直し配水池使用を前倒しする。																
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		施工計画の見直しに伴い、予算執行年度の変更が必要となる。																
第1次評価コメント		要求どおり実施すること。																
第2次評価コメント		第1次評価のとおり実施すること。																

○事後評価

区分	年間(4月~3月)			
取組内容				
成果				
課題				

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主任	氏名	根橋 佳伸	連絡先(内線)	1216
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	浄水施設整備事業 ※公営企業会計			担当課	上水道課				
概要	対象:	上水を使用する市民				体系	B-6-2-2		
	手段:	耐用年数を経過した施設の更新・新設を行う。				新/継	継続		
	意図:	水道水の安定供給を図るための事業である。				区分	ハード		
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)		
	○床尾浄水場施設整備 ○小曾部浄水場施設整備 ○東山地区施設整備 ○塩嶺地区施設整備 ○上水道集中監視施設整備 ○流量計・水位計整備			○床尾浄水場施設整備 ○小曾部浄水場施設整備 ○東山地区施設整備 ○配水池計装盤整備 ○流量計・水位計整備			○床尾浄水場施設整備 ○東山地区施設整備 ○小曾部浄水場施設整備 ○流量計・水位計整備		
財源	予算額 (千円)			計画額 (千円)			計画額 (千円)		
	40,234			40,500			40,300		
	施設整備			施設整備			施設整備		
	特定	40,234	一般	特定	40,500	一般	特定	40,300	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
施設の整備	4		7			7			7

○事中評価

評価視点												今後の方向性									
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①					
1	2	③	4	1	2	③	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	↳					
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥							
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦							
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討												A					皆減 縮小 現状維持 拡大				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												なし					コスト投入の方向性				
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												計画に沿って施設の更新・新設を進めていく。									
第1次評価コメント												計画どおり事業を進めること。									
第2次評価コメント												—									

○事後評価

区分	年間(4月~3月)										
取組内容											
成果											
課題											

作成担当者	部課等	水道事業部上水道課	職名	主査	氏名	百瀬 等	連絡先(内線)	1219
最終評価者	部課等	水道事業部上水道課	職名	課長	氏名	島 徹	連絡先(内線)	1220

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	鉛製給水管解消事業 ※公営企業会計			担当課	上水道課				
概要	対象:	鉛製給水管を給水装置として使用している市民				体系	B-6-2-2		
	手段:	計画的な鉛製給水管の解消を行う。				新/継	継続		
	意図:	健康被害の防止、不安の解消、漏水防止による有収率の向上に資する。				区分	ハード		
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)		
	○鉛製給水管解消			○鉛製給水管解消			○鉛製給水管解消		
財源	予算額	(千円)	84,000	計画額	(千円)	104,880	計画額	(千円)	104,880
						93,600			92,400
				工事費		104,880	工事費		104,880
						93,600			92,400
	特定	94,500	一般	84,000	特定	104,880	一般	104,880	92,400
						93,600			92,400

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
鉛製給水管解消率(%)	82.2%		82.3%			91.1%			100%

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①
1	②	3	4	1	②	3	4	1	②	3	4		現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												計画通りに進捗している。鉛管解消件数は計画通りに進んでいるが、終盤を迎え施工箇所が点在しているため、費用が増額となっている。				
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												計画通りに進めるため、予算増額が必要。				
第1次評価コメント												要求どおり実施すること。				
第2次評価コメント												第1次評価のとおり実施すること。				

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等 水道事業部上水道課	職名 主事	氏名 坂田 孝一	連絡先(内線) 1216
最終評価者	部課等 水道事業部上水道課	職名 課長	氏名 島 徹	連絡先(内線) 1220

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	簡易水道事業の水道事業への統合			担当課	経営管理課			
概要	対象:	上水道を利用する市民			体系	B-6-2-2		
	手段:	事業統合に係る事務処理、一般会計繰入金協議、料金体系統一、例規整備などを実施し、簡易水道事業を水道事業へ統合する。					新/継	新規
	意図:	経営基盤の強化を図り、安定性・持続性を高め、持続可能な水道事業を構築する。			区分	ソフト		
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)	
	○資産調査・整理 ○関係機関との事前調整 ○一般会計繰入金の協議 ○利用者への説明			○資産台帳の作成 ○例規整備 ○利用者への周知 ○打切り決算 ○簡易水道事業の廃止届			○開始貸借対照表の作成 ○料金体系の統一 ○統合事業での予算編成 ○統合に係る事業変更届出 ○事務引継	
財源	予算額 (千円)			計画額 (千円)			計画額 (千円)	
				4,300				
			開始貸借対照表等作成業務 1,650					
			料金システムカスタマイズ 1,820					
			資産台帳システム構築 830					
特定			一般			特定	一般	
			4,300			0		

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
利用者への説明会の開催数	1		6			2			

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	3	④	1	2	3	④	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	↳	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦			
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直し検討 D: 事業の統合・休廃止の検討												皆減 縮小 現状維持 拡大					
												コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等			区長会に説明した結果、料金の値上り幅が大きい口径20mm以上の使用者に対し、丁寧な説明が求められている。														
新年度の予算要求事項(改革・改善案)			平成28年度の計画額の範囲内で予算を要求していく。														
第1次評価コメント			計画どおり事業を進めること。														
第2次評価コメント			—														

○事後評価

区分	年間(4月~3月)										
取組内容											
成果											
課題											

作成担当者	部課等	水道事業部経営管理課	職名	課長補佐	氏名	矢ヶ崎 小百合	連絡先(内線)	1222
最終評価者	部課等	水道事業部経営管理課	職名	課長	氏名	細井 良彦	連絡先(内線)	1210

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	塩尻市浄化センター第1期長寿命化事業 ※公営企業会計			担当課	下水道課		
概要	対象：下水道を使用する市民				体系	B-6-2-2	
	手段：施設の長寿命化に基づき、機械設備等の更新を行う。				新/継	継続	
	意図：機能停止などの未然防止による処理機能の保全、施設の延命化・LCCの低減を図る。				区分	ハード	
年度別 事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)		
	長寿命化実施設計 ○管理棟・機械棟改修(建築・建築機械・建築電気) ○沈砂池・ポンプゲート類 ○受変電・自家発電設備 長寿命化工事 ○汚泥脱水機設備(No.1脱水機更新、No.3No.4貯留槽防食塗装・攪拌機更新)		長寿命化工事 ○消火災害防止設備 ○管理棟・機械棟(建築・建築電気) ○機械棟耐震補強 ○沈砂池ポンプゲート設備 ○自家発電設備 ○その他 ○受変電設備・監視制御装置		長寿命化工事 ○消火災害防止設備 ○管理棟・機械棟(建築・建築電気) ○機械棟耐震補強 ○受変電・自家発電設備 ○監視制御装置		
	予算額 (千円)	284,200	計画額 (千円)	246,000	計画額 (千円)	554,000	
	特定	284,200	一般	0	特定	246,000	一般
財源	長寿命化実施設計	14,200	消火災害防止設備	4,000	消火災害防止設備	9,000	
	長寿命化工事	270,000	管理棟・機械棟	15,000	管理棟・機械棟	35,000	
			機械棟耐震補強	21,000	機械棟耐震補強	44,000	
			沈砂池ポンプゲート設備	18,000	受変電・自家発電設備	175,400	
			自家発電設備	42,600	その他	1,600	
			その他	1,500	受変電・自家発電設備・監視制御設備	406,000	
			受変電設備・監視制御設備	132,500			
				246,000		554,000	
				102,100		265,000	
				0		0	

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
長寿命化事業進捗率(%)	33.3		33.3			53.8			100

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の 方向性	拡充		④	②	①
1	2	3	④	1	②	3	4	1	②	3	4		現状維持		③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥		
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												実施設計において施工内容の詳細を検討したところ、中央監視装置の部品供給期限が過ぎてしまうことが判明したため、平成28年度から中央監視装置の更新が必要となった。					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												事業の平準化を図るため、H30年度までの期間を予定していたが、中央監視装置の更新が必要となったことから、自家発電設備と受変電設備を同時施工することで事業の効率化を図ることができるため、事業期間を1年前倒しして実施する。					
第1次評価コメント												要求どおり実施すること。					
第2次評価コメント												第1次評価のとおり実施すること。					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	上野 晃	連絡先(内線)	5501
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	下水道長寿命化事業(管路施設長寿命化第2期) ※公営企業会計			担当課	下水道課				
概要	対象:	下水道を使用する市民				体系	B-6-2-2		
	手段:	老朽化した管路施設等の管更正等による事故防止・機能停止の未然防止を図るとともに施設の延命化を図る。				新/継	継続		
	意図:	下水道管路施設等の事故防止、施設の延命化・LCCの低減				区分	ハード		
年度別事業内容	平成27年度(1年次)			平成28年度(2年次)			平成29年度(3年次)		
	長寿命化工事 ○マンホール鉄蓋交換工事 N=50基 ○管更生工事実施設計 L=580m			長寿命化工事 ○マンホール鉄蓋交換工事 N=50基 ○管更生工事 L=560m L=145m ○管更生工事実施設計 L=760m			長寿命化工事 ○マンホール鉄蓋交換工事 N=3基 N=50基 ○管更生工事 L=900m L=145m		
財源	予算額	(千円)	計	15,000	計画額	(千円)	計	47,100	
	長寿命化工事			7,500	長寿命化工事			20,000	
	調査・設計業務			7,500	調査・設計業務			41,500	
	特定	15,000	一般	0	特定	47,100	一般	20,000	
								66,700	
								20,000	
								66,700	
								20,000	
								66,700	
								20,000	

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
管更生工事延長(m)	0		0			560			1460

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①
1	2	3	④	1	②	3	4	1	②	3	4		現状維持		③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥		
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												社会資本整備総合交付金事業補助金の内示がないため未着手である。このまま内示がなければ事業を来年度へ先送りとしざるを得ない。					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												平成27年度要望分の補助金が交付されない場合、計画全体期間(H27~H31)を1年延長し、事業全体を1年先送りにしたい。また、補助金確保のため県を通じて国に対して事業の必要性を強く働きかける必要がある。					
第1次評価コメント												要求どおり実施すること。					
第2次評価コメント												第1次評価のとおり実施すること。					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)		
取組内容			
成果			
課題			

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	主任	氏名	宮本 貴章	連絡先(内線)	1235
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	公共下水道污水管路整備事業 ※公営企業会計				担当課	下水道課						
概要	対象:	下水道を使用する市民				体系	B-6-2-2					
	手段:	老朽化した管路施設等の管更生等による事故防止・機能停止の未然防止を図るとともに施設の延命化を図る。				新/継	継続					
	意図:	下水道管路施設等の事故防止、施設の延命化・LCCの低減				区分	ハード					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)				平成28年度(2年次)				平成29年度(3年次)			
	○汚水支線工事 L=140m ○汚水樹設置工事 25ヶ所 ○私設ポンプ補助 2ヶ所 ○汚水支線敷設替工事(太田 汚水支線) 対象延長L=320m				○汚水支線工事 L=140m ○汚水樹設置工事 25ヶ所 ○私設ポンプ補助 2ヶ所 ○汚水支線敷設替工事(高出 汚水支線) 対象延長L=100m				○汚水支線工事 L=140m ○汚水樹設置工事 25ヶ所 ○私設ポンプ補助 2ヶ所 ○汚水支線敷設替工事(高出 汚水支線) 対象延長L=100m			
財源	予算額	(千円)	67,400	計画額	(千円)	40,600	計画額	(千円)	40,600			
	汚水支線工事		10,000	汚水支線工事		10,000	汚水支線工事		10,000			
	汚水樹設置工事		10,000	汚水樹設置工事		10,000	汚水樹設置工事		10,000			
	私設ポンプ補助		600	私設ポンプ補助		600	私設ポンプ補助		600			
	汚水支線敷設替工事		46,800	汚水支線敷設替工事		20,000	汚水支線敷設替工事		20,000			
特定	67,400	一般	0	特定	40,600	一般	0	特定	40,600	一般	0	

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
要望に対する污水管等整備率(%)	22		45			73			100
污水管敷設替延長(m)	0		320			420			520

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①
1	2	3	④	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価									休廃止	⑦		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討													皆減	縮小	現状維持	拡大
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												管路及びマンホールの沈下箇所を調査したところ、本管に亀裂が生じたり本管・マンホールが不等沈下するなど、汚水の流下機能に支障をきたしている管路施設が発生している。				
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												管路及び汚水樹新設にあたっては最小土被り、最小管径による施工を行いコストの最小化を図っていく。管路の不具合箇所の流下機能を確保するために新規予算を計上し、管路敷設替を行う必要がある。				
第1次評価コメント												要求どおり実施すること。				
第2次評価コメント												第1次評価のとおり実施すること。				

○事後評価

区分	年間(4月~3月)			
取組内容				
成果				
課題				

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	明間 健一	連絡先(内線)	1215
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	終末処理施設改修事業 ※公営企業会計		担当課	下水道課		
概要	対象:	下水道を使用する市民		体系	B-6-2-2	
	手段:	電気設備及び、機械設備の部品交換工事		新/継	継続	
	意図:	機能停止や事故などの未然防止		区分	ハード	
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)	
	塩尻市浄化センター ○電気設備 ○主ポンプ設備 ○沈砂池設備 ○汚泥処理設備 ○小破修理 檜川浄化センター ○機械設備		塩尻市浄化センター ○電気設備 ○水処理設備 ○汚泥処理設備 ○小破修理 檜川浄化センター ○機械設備		塩尻市浄化センター ○電気設備 ○水処理設備 ○汚泥処理設備 ○小破修理 檜川浄化センター ○機械設備	
財源	予算額 (千円)	54,465	計画額 (千円)	60,400	計画額 (千円)	63,990
	塩尻市浄化センター	51,322	塩尻市浄化センター	55,070	塩尻市浄化センター	60,000
	檜川浄化センター	3,143	檜川浄化センター	5,330	檜川浄化センター	3,990
	特定	54,465	一般	0	特定	63,900
				60,400	一般	
					63,900	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
終末処理施設事業進捗率(%)	30.5		30.5			64.3			100

○事中評価

評価視点												今後の方向性					
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①	
1	2	3	④	1	2	3	④	1	2	3	④		現状維持	③	⑤	⑥	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥			
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦			
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												コスト投入の方向性					
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												なし					
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												最適な将来計画にするために随時見直しを行っていく。					
第1次評価コメント												要求どおり実施すること。					
第2次評価コメント												第1次評価のとおり実施すること。					

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	上野 晃	連絡先(内線)	5501
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230



平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	合併処理浄化槽設置事業		担当課	下水道課			
概要	対象:	合併処理浄化槽を必要とする市民			体系	B-6-2-2	
	手段:	公共用水域の水質保全を図り、衛生的で快適な生活環境を創出するという課題があるので、合併処理浄化槽の整備を行う。			新/継	継続	
	意図:	公共用水域の水質保全と、衛生的で快適な生活環境を図る。			区分	ソフト	
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)		
	○合併処理浄化槽設置費補助		○合併処理浄化槽設置費補助		○合併処理浄化槽設置費補助		
財源	予算額	(千円)	4,282	計画額	(千円)	計画額	(千円)
	合併処理浄化槽設置費補助		4,282	予算対応		予算対応	
	特定	884	一般	3,398	特定	一般	

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
合併処理浄化槽設置基数(基)	1		4			3			3

○事中評価

評価視点												今後の方向性							
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充		④	②	①		
1	2	③	4	1	2	3	④	1	2	③	4		現状維持		③	⑤			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小		⑥	↳			
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦					
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減					縮小	現状維持	拡大
												コスト投入の方向性							
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												個別処理区域居住者の申請に基づく事業であるため、進捗管理が困難。							
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												予算以上に浄化槽設置のニーズが生じた際には補正予算にて対応が必要。							
第1次評価コメント												要求どおり実施すること。							
第2次評価コメント												他事業への組替要求による減額を認める。(4基分→3基分)							

○事後評価

区分	年間(4月~3月)				
取組内容					
成果					
課題					

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	明間 健一	連絡先(内線)	1215
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	衛生センター長寿命化事業				担当課	下水道課						
概要	対象:	し尿処理施設を必要とする市民				体系	B-6-2-2					
	手段:	塩尻市衛生センターの適切な維持管理のために機械設備の点検、修繕を実施し効率的な施設稼働を行う。				新/継	新規					
	意図:	公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図る。				区分	ハード					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)				平成28年度(2年次)				平成29年度(3年次)			
	○電気設備				○電気設備							
財源	予算額	(千円)	19,948		計画額	(千円)	21,800 20,000		計画額	(千円)		
	特定	18,900	一般	1,048	特定	20,700 19,000	一般	1,100 1,000	特定		一般	

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
電計設備更新	0		0			1			

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①
1	2	③	4	1	②	3	4	1	2	③	4		現状維持	③	⑤	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価				C					休廃止	⑦		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減	縮小	現状維持	拡大	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等												実施計画策定時に比べ、資材・労務単価の高騰による事業費見直しが必要となっている。				
新年度の予算要求事項(改革・改善案)												事業費精査のうえ、予算増額が必要。				
第1次評価コメント												昨年査定額の範囲内で対応すること。				
第2次評価コメント												組替要求による増額を認める。浄化センター等を含めた効率的かつ持続的な処理体制の構築について研究を進めること。				

○事後評価

区分	年間(4月~3月)										
取組内容											
成果											
課題											

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	係長	氏名	上野 晃	連絡先(内線)	5501
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230

# 平成27年度 施策評価シート

## 1 施策の位置付け

基本戦略	B	住みよい持続可能な地域の創造
重点プロジェクト	6	危機管理の強化と社会基盤の最適活用
施策	3	行政機能の効率化の検討
目的	本戦略の適正な進捗管理を行うとともに、職員の政策立案能力の向上等の人材育成、アウトソーシングも含めた適正な定員管理と人員配置、持続可能な財政運営等を進めることで、効率的、効果的な行政経営を推進します。	

## 2 施策の指標における成果

指標	単位	基準値		達成値			目標値
		H25	H26	H27	H28	H29	H29
市民	職員の対応に好感を持つことができると感じる市民の割合	%	—	53.8			58.0
市民	市民による行政サービスの満足度(窓口対応)	%	—	81.6			86.0
統計	嘱託員に係る人件費(報酬総額)	円	—	12億4,100万円			11億5,800万円
統計	第五次総合計画施策指標の達成率	%	—	0			100
統計	将来負担比率	%	49.9	—			100%以内
統計	実質公債費比率	%	7.4	—			12.5%以内
統計	市税の収納率	%	95.35	—			95.50
その他 成果							

## 3 施策を構成する事務事業の評価(取り組み別)

取り組み③	職員の育成と人員配置の適正化								
手段	職員としての資質向上と、評価制度の改善により質の高い行政サービスの確保を図ります。また、適正な定員管理と人員配置に努めるとともに、民間活力を導入して行政サービスの維持、効率化を目指します。								
番号	施策を構成する事務事業名 ※公営企業会計事業	担当課	事業費			重点化	方向性		
			H27	H28	H29		成果	コスト	記号
1	水道料金等賦課徴収業務委託事業 ※	経営管理課		20,000 5,400	109,300	◎	拡充	縮小	④
2	浄水施設管理委託事業 ※	上水道課			86,200	—	—	—	—
3	し尿処理施設管理費	下水道課	31,663	10,800	10,800	○	維持	維持	⑤

## 4 施策の評価

### ○ 事中評価

評価視点	評価コメント
(1) 事業構成の適正性	平成28年度は、民間が持つノウハウを積極的に活用し、業務の効率化や利用者サービス向上、併せて適正な人員配置の実現に向けて、料金等賦課徴収業務及び衛生センターの施設管理業務を民間へ委託する。
(2) 事業の重点化	平成28年度は、平成29年4月の料金等賦課徴収業務の民間委託に向け、プロポーザル方式による委託先の決定や業務を履行する事務所等を整備するため「水道料金等賦課徴収業務委託事業」の重点化を図るほか、衛生センターの施設管理業務を民間へ委託する。
(3) 役割分担の妥当性	上下水道事業においては、技術職員の退職等により技術力の確保が困難となりつつあることから、民間業者を積極的に活用し技術力を確保することが必要となっている。将来的には、上下水道事業の施設管理や運転管理などの業務全般を包括して委託することによる効率的な事業運営を目指していく。

### ○ 事後評価

(4) 施策指標の分析	
-------------	--

作成者	所属 水道事業部経営管理課	職名 課長	氏名 細井 良彦
評価者	所属 水道事業部	職名 部長	氏名 大和 晃敏

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	水道料金等賦課徴収業務委託事業 ※公営企業会計		担当課	経営管理課				
概要	対象:	上・下水道を使用する市民			体系	B-6-3-3		
	手段:	委託業務内容を精査し、プロポーザル方式により業者を選定し、引継ぎ期間を設けスムーズな業務移行を行う。			新/継	新規		
	意図:	専門性による事務効率の向上と良質な市民サービスを提供する。			区分	ソフト		
年度別事業内容	平成27年度(1年次)		平成28年度(2年次)		平成29年度(3年次)			
	○委託業務内容の精査 ○事務所の場所の選定 ○プロポーザル公募要領作成 ○審査基準作成		○プロポーザル実施 ○仮契約 ○新事務所改修設計・工事 ○業務移行準備(平成28年10月~29年3月)		○本稼働(民間委託開始)			
財源	予算額 (千円) 計		計画額 (千円) 計 5,400		計画額 (千円) 計 109,300			
			新事務所改修設計管理 400		業務委託料 109,300			
			新事務所改修工事 5,000					
	特定	一般	特定	5,400	一般	特定	109,300	一般

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
仕様書の作成			1						
プロポーザルの実施						1			

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性				
1	2	3	④	1	②	3	4	1	②	3	4		④	②	①	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		現状維持	③	⑤	
													縮小	⑥		
総合評価判定						総合評価						コスト投入の方向性				
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討						C						皆減 縮小 現状維持 拡大				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		料金徴収業務を行う事務所については、総文の会議室等を利用することを考えていたが、空いている会議室等がないため、総文の喫茶室の一部改修又は旧警察官舎跡地への事務所の新築等、事務所の確保が課題となっている。また、塩尻市水道事業協同組合の主たる業務であるメーター検針等を民間へ委託することにより、組合の存続、組合との業務連携が課題となってきたことから、委託する業務の見直しが必要となっている。														
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		総文の会議室等を利用することができなくなったことから、総文の喫茶室の一部改修又は旧警察官舎跡地への事務所の新築等が必要となったため、事務所改修費の増額が必要となる。														
第1次評価コメント		コスト圧縮をさらに進めること。														
第2次評価コメント		—														

○事後評価

区分	年間(4月~3月)	
取組内容		
成果		
課題		

作成担当者	部課等	水道事業部経営管理課	職名	係長	氏名	林 憲男	連絡先(内線)	1218
最終評価者	部課等	水道事業部経営管理課	職名	課長	氏名	細井 良彦	連絡先(内線)	1210

平成27年度 事務事業評価シート

○実施計画

事務事業名	し尿処理施設管理費				担当課	下水道課						
概要	対象:	し尿処理施設を必要とする市民				体系	B-6-3-3					
	手段:	塩尻市衛生センターの適切な維持管理のために機械設備の点検、修繕を実施し、運転・管理業務の委託を行う。				新/継	継続					
	意図:	公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図る事業である。				区分	ハード					
年度別事業内容	平成27年度(1年次)				平成28年度(2年次)				平成29年度(3年次)			
	○衛生センターの維持管理				○衛生センターの維持管理業務の委託				○衛生センターの維持管理業務の委託			
財源	予算額	(千円)	31,663	計画額	(千円)	10,800	計画額	(千円)	10,800			
	(嘱託員対応継続)		31,663	運転維持管理業務委託料		10,800	運転維持管理業務委託料		10,800			
	特定	2,173	一般	29,490	特定	0	一般	10,800	特定	0	一般	10,800

○評価指標

評価指標	H27			H28			H29		
	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値	中間値 (事中評価)	実績値 (事後評価)	目標値
委託事業実施率(%)	0		0			100			100

○事中評価

評価視点												今後の方向性				
妥当性				有効性				効率性				成果の方向性	拡充	④	②	①
1	2	3	④	1	2	3	④	1	2	3	④		現状維持	③	⑤	⑥
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		縮小	⑥		
総合評価判定				総合評価				A					休廃止	⑦		
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直し検討 D:事業の統合・休廃止の検討												皆減 縮小 現状維持 拡大				
												コスト投入の方向性				
当年度開始後、約6ヶ月が経過し新たに生じた問題等		衛生センターの維持管理の民間委託を進めていく。														
新年度の予算要求事項(改革・改善案)		なし														
第1次評価コメント		計画どおり事業を進めること。														
第2次評価コメント		—														

○事後評価

区分	年間(4月~3月)			
取組内容				
成果				
課題				

作成担当者	部課等	水道事業部下水道課	職名	主任	氏名	宮本 貴章	連絡先(内線)	1235
最終評価者	部課等	水道事業部下水道課	職名	課長	氏名	保科 正明	連絡先(内線)	1230